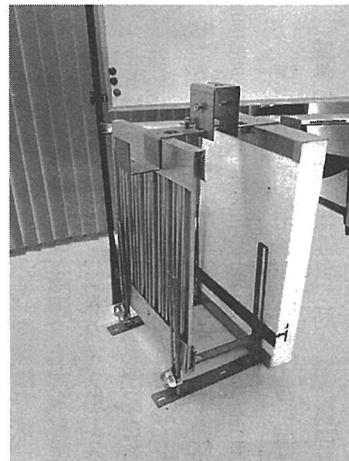


# 高性能基礎を全国展開

### 地耐協「耐Qパネル基礎」



基礎断熱仕様のモデル

地耐協(東京都、猪野明彦社長)は、次世代高品位基礎工法「耐Qパネル基礎」を開発した。同工法は「基礎下免震スーパージオ工法」を展開する同社が、一般的な住宅の基礎工法の合理化と高品質化を図り、専門工事業者に依存しなくても施工できる工法として開発した。

## 熟練工不要で工期も短縮

耐Qパネル基礎は超構造計算により基礎のハンチをなくし、一発打設でコンクリートを使ったスマート型枠と専用金物を、金切りばさみと電動ドライバで組み立てる。熟練工を必要とせず、作業負担を軽減し、軽量で女性でも施工が可能。

構造計算により基礎のハンチをなくし、一発打設でコンクリートを使ったスマート型枠と専用金物を、金切りばさみと電動ドライバで組み立てる。熟練工を必要とせず、作業負担を軽減し、軽量で女性でも施工が可能。

基礎断熱の場合、外断熱、内断熱のボード系断熱材を内側にも型枠なしで施工できる。砕石の上にターミンシートを施工した場合、木部の防蟻処理なしでも10年間の白アリ保証を行う。

同社は8日の東京会場に続き、名古屋、大阪、福岡で説明会を開催。全体で約200社の参加を見込む。このなかから導入を決めた工務店、専門工事会社には5月13日に東京、同15日宮崎で研修会を予定している。

## 高周波プレスが本稼働

### CLT、集成材の効率化に期待

協同組合オホーツクウッドピア(北海道北見市、中原雅之理事)は、かねてより進めていた高周波プレスの設置が完了し、1日から生産を開始した。設置したのは山本ビル。

協同組合オホーツクウッドピア(北海道北見市、中原雅之理事)は、かねてより進めていた高周波プレスの設置が完了し、1日から生産を開始した。設置したのは山本ビル。

## カーボンリサイクル産学官国際会議開催

### NEDO

新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)は、9月25日に「カーボンリサイクル産学官国際会議」を開催すると発表している。

日本は、CO<sub>2</sub>を炭素資源として捉え、これを回収し、多様な炭素化合物として再利用する「カーボンリサイクル」という概念を本年2月に打ち出した。6月には「カーボンリサイクル技術ロードマップ」がとりまとめられる予定となっている。

場所は東京都内を予定しており、出席者として世界の主要な国の産学官の関係者の参加を得て、最新の知見、国際連携の可能性を確認するとともに、イノベーションを効果的に推進するための課題について議論を深めることを目指す。

## 4月配船売り切る

### チリ産ラジアタ松製材品

## 年後半の供給に不透明感

チリ産ラジアタ松製材品は大手サプライヤーが4月配船の3番船で予定供給量完成し、産地価格は薄板3155・3200、(C&F、立方材)、割角3055・3100(同)で据え置いた。しかし、国内市況が低調なうえ、年後半の配船が未契約であるため、今後の供給動向には不透明感が残る。

最大のアラウコは、本の手チリ材需要を踏ま同船でも、約2万立方メートルの供給となる見込みを安定供給する。1番船は若干遅れて降の配船でも同様の数量を予定はするが、日本各港に入港してお

り、次船2番船の入港は4月中旬を予定している。今回販売した3番船は5月中旬以降の入港見込みで、2番船との配船間隔が通常より短くなる。

国内流通各社の製材品在庫は2カ月前と、上向かない梱包材市況も相まってややだぶついている。そのため流通各社が仕入れ量を調整することも考えられた。

しかし、今年後半の6番船から8番船について船会社との契約締結が難航しており、後半の供給動向が読みづらいことから、流通各社は資材の確保に動いた模様だ。

日本以外の世界市場は、中国の引き合い低下や、韓国の需要縮小が見られる一方で、中近東は販売が堅調と、市況に差が見られる。

特に、一大需要国である中国は米国の貿易問題が長引き内需も減退しているため、チリ産材をはじめ木材製

品の荷動き停滞が顕著だ。

ただ、世界市場の先行きは不透明であるものの、産地は価格維持を基本姿勢としており、今後の日本向け価格も横ばいが予想されている。

日本国内の梱包材市況は、4月末の大型連休を前にしても目立った駆け込み需要は感じられない。中国向け輸出の滞りでチリ材以外の輸出梱包材資材でも在庫が膨らんでおり、輸産業及び資材の動きは、道内で生産したCLTを利用したいとの要望も多い。同組

**建て方・内外装工事**  
**マンマー人即戦力**  
**(株)KNDコーポレーション**  
<http://www.bukko-kanda.co.jp/>  
TEL03(3598)8800

CLTの生産が可能になる。同組合が製造するCLTはカラ松が中心だが、今後トド松のCLT製造にも取り組んでいく。

CLTの需要自体はまだ限られてはいるが、集成材の供給と合わせて、道内唯一のCLT製造工場として生産を本格化させている。道内で生産したCLTを利用したいとの要望も多い。同組合は、道内の非住宅木造物件についても、大断面集成材の利用より小断面集成材を利用した建築物が増え、同社も小断面集成材の製造が増えている。

併催行事となる森林・林業・環境機械展示実演会(林業機械展)は、12月14・15日に奥武山公園補助競技場(那覇市)で開催する。

この高周波プレスの設置で、CLT、集成材の生産速度の向上が期待される。同社の2018年の集成材製造実績は5720立方メートル。内訳は、大断面集成材が470立方メートル、その他小断面集成材5200立方メートル、CLT50立方メートルとなっており、中断面集成材の製造割合を伸ばしている。

お手入れ行事は、12月14日に沖縄県平和創造の森公園(糸満市)で実施する。1993年(平成5年)の第44回全国植樹祭において、天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木(リュウキュウマツ、フクギ)に対して、皇族殿下が施肥などを行う。

第43回全国育樹祭初の沖縄開催に  
第43回全国育樹祭は沖縄県で初開催となる。

お手入れ行事は、12月14日に沖縄県平和創造の森公園(糸満市)で実施する。1993年(平成5年)の第44回全国植樹祭において、天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木(リュウキュウマツ、フクギ)に対して、皇族殿下が施肥などを行う。

**DRY BEAM since 1989**

**いつでも即納、安定供給です。累計販売量 987万m<sup>3</sup>**

**支持率 No.1** 日本全国の木造在来軸組工法の家の22%はドライ・ビーム\*

**販売量 No.1** 日本全国の構造用ベイマツ無垢乾燥材の流通量の80%はドライ・ビーム\*\*

**即納 No.1** 日本全国どこへでも即納スピード納品なら

**まだまだコストダウンできる!**

その答えは **ドライ・ビーム & 集成材の併用仕様**にあります

小さい断面に「ドライ・ビーム」、大きい断面に「構造用集成材」を使えば、コストダウンしながら高性能な構造躯体を実現できます。

**ドライ・ビーム**